

シナリオ 1

平成 14 年 7 月 12 日
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
sulzbürger@amy.hi-ho.ne.jp

72 歳男性，生来健康であった．66 歳の妻が高血圧で治療中，最近家庭用血圧計を購入し，自宅での血圧測定を行っている．そのため自分も何度も測定してみたところ，収縮期血圧が 160mmHg を越えることが多く，自分も高血圧の治療が必要ではないかと思い来院した．

初診時血圧，172/74mmHg．尿検査，血液検査，心電図，胸部 X 線写真異常なし．初診医は，自宅での血圧測定の継続を指示，さらにもう 2~3 ヶ月外来で血圧を評価し，その間に治療方針を決定したいと考え，定期的な外来受診を指示した．

その後 3 ヶ月の経過観察中の収縮期血圧は家庭，外来のいずれにおいても平均 170mmHg を越えていた．

患者の両親は，共に脳卒中で寝たきりになった後なくなっており，患者自身も脳卒中に対する不安が強い．ころっと死ねるならいいが，寝たきりになるくらいなら死んだ方がましだと思っている．ただ高血圧の薬を飲むことに関しては，一度飲み始めたら一生飲まないといけないと友人から聞かされており，できるだけ飲みたくないと考えている．